ACSES ニュースレター_２３４２号（2022 年 6 月 28 日）

発行：NPO 法人教育研究機関化学物質管理ネットワーク（ACSES）事務局

―目次（25 頁）―

[1] 化学物質関係事故、事件関係
◇令和 2 年度農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況について〈農林水産省〉
◇チョコに未承認痩せ薬か　各地で健康被害、岐阜・北方の店も販売〈新聞報道〉
◇世界の薬物使用 2 億 8 千万人　国連報告書、大麻が最多〈 Web 報道〉
◇その他の事故、事件
◇事故、事件の続報
・個人情報入りＵＳＢ紛失、業者が無断で「再委託」繰り返す…市「報告なく契約違反」〈新聞報道〉
◇事故・事件対策、措置、訴訟等
・3 割前後にとどまる労災認定率　「しゃくし定規な審査が多い」〈新聞報道〉
・ネオジム磁石製のマグネットセットによる子どもの誤飲事故の防止について（注意喚起及び協力要請）〈経済産業省〉
・ウクライナ情勢を悪用した手口にご注意！（No.3）－送金依頼や書籍の強引な販売トラブル等－〈国民生活センター〉
□大災害、原発事故対策
[福島原発事故]
・国際原子力機関(IAEA)との海洋モニタリングに関する協力プロジェクトの報告書の公開〈農林水産省〉
・海洋放出「断固反対」　全漁連が申し入れ―原発処理水〈Web報道〉
[2] [特集] 新型コロナウイルス感染症
[状況]
◇省庁発表
◇マスコミ報道　見出し
[対策・予防]
◇省庁発表
◇ワクチン、検査薬、治療薬等
◇マスク
[3] 労働安全衛生法第五十七条の四第三項の規定に基づき新規化学物質の名称を公表する件（厚生労働省告示第 214 号）〈官報〉
[4] 肥料
◇肥料の登録の有効期間を更新した件（農林水産省告示第 1066 号）〈官報〉
◇生産業者の住所及び肥料の名称の変更に係る届出があった件（農林水産省告示第 1067 号）〈官報〉
◇肥料の登録が失効した件（農林水産省告示第 1068 号）〈官報〉
◇肥料を登録した件（農林水産省告示第 1069 号）〈官報〉
[5] 食品安全衛生関係
◇環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律に基づく基盤確立事業実施計画の認定等に関する省令(財務省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・環境省令第 3 号）〈官報〉
◇環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律施行規則（農林水産省令第 42 号）〈官報〉
[6] 調査、公募、意見募集等
［公募、意見募集等］　４件　　［公募結果、意見募集結果］　１件
[7] その他省庁発表　　３件

茴香（ウイキョウ、フェンネル）

［8］関連会議等の開催案内、開催記録・報告、資料等
　［開催案内］　３件　　［開催記録、報告、資料等］　３件
［9］その他
◇インフルエンザ、感染症関係：１件

****

［1］***化学物質関係事故、事件関係***

◇令和２年度農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況について

＜農林水産省　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/220627.html

農林水産省は、農薬の安全かつ適正な使用を推進し、農薬の使用に伴う事故及び被害を防止するため、それらの発生状況について調査を実施しています。この度、令和２年度の結果を取りまとめましたのでお知らせします。

1.調査の目的

農林水産省は、農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況を把握し、より効果的な再発防止策の指導を通じて事故及び被害を防止することを目的として、厚生労働省と連携して、農薬の使用に伴う事故及び被害の実態を把握するための調査を毎年度実施しています。

今回の調査では、令和２年４月から令和３年３月までに発生した農薬による人に対する中毒事故、農作物・家畜等の被害を対象とし、全都道府県に情報提供を依頼し、とりまとめました。

2.調査結果

令和２年度の調査の結果、農薬の使用に伴う人に対する事故は 22 件でした。また、農作物や魚類の被害は 21 件でした。

表：令和２年度の農薬の使用に伴う事故及び被害の主な発生状況

事故等の対象	件数	主な原因
人	22 件	・農薬をペットボトル等の飲料品に移し替えたため、誤飲した（8 件） ・土壌くん蒸剤（クロルピクリン剤）を使用した時に、被覆をしなかった又は何らかの理由で漏洩した（4 件） ・農薬の散布時にマスクや保護メガネなどの防護装備が不十分だった（2 件）
農作物	12 件	・農薬の飛散防止対策が不十分だった ・土壌くん蒸剤（クロルピクリン剤）を使用した時に、被覆をしなかった又は何らかの理由で漏洩した
魚類	9 件	・農薬残液を排水路や河川に流出させた

3.今後の対応

これらの事故及び被害を防止するためには、以下の取組を適正に行うことが重要です。

・農薬やその希釈液、残渣等をペットボトル、ガラス瓶等の飲料品の空容器等に移し替えない
・農薬を施錠された場所に保管する
・土壌くん蒸剤を使用した際は、適正な材質や厚さの資材を用いて被覆を完全に行う
・農薬の調製又は散布を行うときは、農薬用マスク、保護メガネ等の防護装備を適切に着用する
・農薬が飛散しないよう風向等に注意し、強風時の散布は控える
・飛散が少ないと考えられる剤型を選択したり、飛散低減ノズルを使用したりするなど、飛散防止対策を十分に行う
・農薬は、計画的に購入・使用し、使い切るよう努める

・廃棄物処理業者に依頼するなど、使用残農薬や不要になった農薬を適正に処理する

農林水産省は、農薬の安全かつ適正な使用を一層推進するため、都道府県に今回の調査結果を送付するとともに、事故及び被害を防止するための指導を徹底するよう依頼しました。今後も、「農薬危害防止運動」等の機会を活用し、農薬の使用に伴う事故及び被害の防止に向けて、引き続き農薬の適正使用の推進に取り組んでまいります。また、本調査は、令和３年度分以降も引き続き実施いたします。

4.公表資料

「令和２年度農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況」及び過去の調査結果については、当省ホームページから御覧になれます。

URL：https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/accident.html

＜添付資料＞

・(別紙) 農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況（平成 28 年度～令和２年度）

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/attach/pdf/220627-1.pdf

・中毒発生時の状況や防止策などの詳細情報

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/attach/pdf/220627-2.pdf

---

◇<u>チョコに未承認痩せ薬か　各地で健康被害、岐阜・北方の店も販売</u>

＜中日新聞　2022 年６月 26 日＞　https://www.chunichi.co.jp/article/496378

国内で未承認の痩せ薬「シブトラミン」入りとみられるチョコレートが、岐阜県北方町の雑貨店で販売されていたことが分かった。ダイエット用健康食品と称してインターネットなどでも売られており、今月になって各地で健康被害が相次いで報告されている。厚生労働省や自治体が注意を呼びかけている。

シブトラミンは食欲抑制作用があるが、血圧上昇や動悸（どうき）、頭痛などの副作用がある。六月に入り、シブトラミン入りのチョコレートやゼリーを食べた健康被害が、千葉市、兵庫県西宮市、相模原市、北九州市、埼玉県川口市で相次いで報告された。関係者によると、北方町の雑貨店に置かれていたのは、川口市と同じパッケージだったという。

関係者によると、情報提供を受けた岐阜県警が六月中旬に回収。成分の鑑定を進め、医薬品医療機器法違反の疑いもあるとみて調べる。

雑貨店の店長のベトナム人男性（２９）は本紙の取材に、「警察が来てびっくりした」と話した。チョコレートは男性の妻がインターネットで購入し、昨年から販売。仕入れ先は「日本国内の会社」で、店頭で買った客はいないが、店のネットショップで購入した人がいるという。

岐阜県によると、県内では二十四日現在で健康被害の相談や届け出はない。厚労省によると、健康被害は二〇〇〇年代からみられ、因果関係は解明されていないものの、ぜんそくの基礎疾患がある三十代の女性が摂取して死亡した例もあるという。医薬品の安全性を調査している厚労省の外郭団体によると、ここ数年は目立った被害はなかったが、今月になって報告が増えた。今回出回っている製品パッケージには、いずれもベトナム産と記載されているという。

◇<u>世界の薬物使用２億８千万人　国連報告書、大麻が最多</u>

＜共同通信　2022 年６月 27 日＞　https://nordot.app/913962849604485120?c=39546741839462401

国連薬物犯罪事務所（UNODC）は 27 日、2020 年に、世界の 15～64 歳の人々のうち推計２億 8400 万人が薬物を 12 カ月以内に使用していたとする 22 年版「世界薬物報告」を発表した。最も使われている薬物は大麻で、20 年は推計２億 900 万人が使用した。

報告書は、新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウン（都市封鎖）が量の面でも頻度の面でも大麻の使用増加の一因となったと分析。一部の国で見られる大麻の合法化は、公衆衛生に幅広い影響を与えているとみられると指摘した。

20 年のコカイン製造は 1982 トン。20 年は推計 2150 万人が使用した。

◇***<u>事故、事件の続報</u>***

・個人情報入りＵＳＢ紛失、業者が無断で「再委託」繰り返す…市「報告なく契約違反」
＜読売新聞　2022 年 6 月 27 日＞
https://news.yahoo.co.jp/articles/3665ca00bbf3edc978b0603dc32b9602a10ea6f5
　兵庫県尼崎市の全市民約４６万人分の個人情報が入ったＵＳＢメモリーが紛失した問題で、市から業務を受託した情報システム会社「ＢＩＰＲＯＧＹ（ビプロジー）」（旧・日本ユニシス）が協力会社に一部業務を委託する際、市の許可を得ていなかったことがわかった。ビプロジー社は経緯を調査している。
　同社は住民税非課税世帯などへの「臨時特別給付金」の支給事業を市から受託。同社によると、市との契約書では業務を再委託する場合、市の許可を得る必要があるが、無断で協力会社に再委託していた。
　また、ビプロジー社は２６日、協力会社がさらに別の会社に再委託していたと発表。これまでＵＳＢを紛失したのは協力会社の社員と説明していたが、協力会社の委託先の社員だったと訂正し、ビプロジー社は「社内で誤った報告があった」と説明した。
　市幹部は「いずれの再委託も報告がなく、契約に反している。調査を進め、経緯を検証したい」と話した。

◇***事故・事件対策、措置、訴訟等***

・3 割前後にとどまる労災認定率　「しゃくし定規な審査が多い」
＜京都新聞　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/822223
　２０２１年度の精神疾患による労災認定件数が過去最多を更新したことが２４日、分かった。そのうち自殺（未遂を含む）は７９人に上る。遺族は悲しみを抱えながら「仕事が原因だと認めてほしい」との思いで懸命に証拠を集め、労災申請にこぎ着けている。だが、申請にも至らないケースは多い。認定率も

・ネオジム磁石製のマグネットセットによる子どもの誤飲事故の防止について（注意喚起及び協力要請）
＜経済産業省　2022 年 6 月 27 日＞
https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220624003/20220624003.html?from=mj
強力な磁力を持ったネオジム磁石製のマグネットセットを子どもが誤飲したことにより、開腹手術が必要となった事故が複数発生しています。
ネオジム磁石製のマグネットセットを購入される方におかれましては、当該製品を子どもに触れさせないよう十分注意いただくようお願いします。
また、インターネットモール上でマグネットセットを販売する事業者におかれましては、子どもによる誤飲事故を防止する観点から商品説明や表示による対策を講じてください。
1. 概要
マグネットセットを子どもが誤飲し、開腹手術が必要となった重大事故が複数発生しています。
消費者安全調査委員会は、ネオジム磁石製のマグネットセットによる子どもの誤飲事故について、消費者安全法第23条第1項の規定に基づく調査を実施し、「マグネットセットが子どもの手に渡らないようインターネットモール事業者に協力を求めること」との内容を含む意見具申を同法第33条に基づき2022年3月24日に経済産業大臣に対して行いました。
これを受けて、経済産業省は、マグネットセットを購入される方への注意喚起に加え、インターネットモール上でマグネットセットを販売する事業者において講じていただきたい対策について呼びかけるとともに、主要なインターネットモール運営事業者への協力要請を行いました。
2. ネオジム磁石製のマグネットセットを購入される方への注意喚起
強力な磁力を持ったネオジム磁石製のマグネットセットを子どもが誤飲したことにより、開腹手術が必要となった事故が複数発生しています。
このため、マグネットセットを購入される方におかれましては、当該製品を子どもに触れさせないよう十分注意いただくようお願いします。
万が一、誤飲が疑われる場合は、すぐに医療機関を受診して下さい。
3. インターネットモール上でマグネットセットを販売する事業者において講じていただきたい対策内容
インターネットモール上でマグネットセットを販売する事業者におかれましては、子どもによる誤飲事故を防止

する観点から、以下の対応を行っていただくようお願いします。
インターネットモール上で販売されるネオジム磁石製のマグネットセットの商品説明や表示についてのお願い
https://www.meti.go.jp/product_safety/consumer/system/magnetset20220624-seller.pdf
マグネットセットの商品説明や表示において、対象年齢を14歳以上とする。
子どもが誤飲し開腹手術が必要となった重大事故が複数発生していることを明示しつつ、子どもの手には触れさせない旨の注意喚起をする。
子どもの使用や幼児教育を想定した表現を行わない。
具体的には「子ども」や「親子」といった表記の他、「おもちゃ」、「知育」や「教育」等の子どもが使うことを想定した表現を用いない、子どもの写真画像やイラストを使用しない。
4. インターネットモール事業者に対する協力要請
経済産業省は、本日付で、主要なインターネットモール運営事業者に対して、子どもの誤飲事故を防止する観点から、インターネットモール上でマグネットセットを販売する事業者の対応について以下の協力要請を行いました。
ネオジム磁石製のマグネットセットによる子どもの誤飲事故の再発防止策への協力要請の概要
https://www.meti.go.jp/product_safety/consumer/system/magnetset20220624-mall.pdf
① マグネットセットを販売する事業者へ以下の内容を通知し、対応の協力を要請すること
14歳以上が使用するものであること明記する。
子どもが誤飲し開腹手術が必要となった重大事故が複数発生していることを明示しつつ、子どもの手には触れさせない旨の注意喚起をする。
子どもの使用や幼児教育を想定した表現を行わない。
具体的には「子ども」や「親子」といった表記の他、「おもちゃ」、「知育」や「教育」等の子どもが使うことを想定した表現を用いない、子どもの写真画像やイラストを使用しない。
② 上記①の対応状況について販売ページの確認等のフォローアップ

・ウクライナ情勢を悪用した手口にご注意！（No.3）－送金依頼や書籍の強引な販売トラブル等－
＜国民生活センター　2022年6月27日＞
https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20220627_1.html
ウクライナ情勢を悪用した詐欺トラブルが引き続き生じていますので、注意してください。

□*大災害、原発事故対策*
［福島原発事故］
・国際原子力機関(IAEA)との海洋モニタリングに関する協力プロジェクトの報告書の公開
＜農林水産省　2022年6月27日＞　https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/220627.html
---

・海洋放出「断固反対」　全漁連が申し入れ―原発処理水
＜時事通信　2022年6月27日＞　https://sp.m.jiji.com/article/show/2773802
　全国漁業協同組合連合会（全漁連）の坂本雅信会長は２７日、経済産業省を訪れ、東京電力福島第１原発から出る放射性物質トリチウムを含む処理水の海洋放出について「断固反対はいささかも変わらない」とする要望書を提出した。
　要望では、政府の風評被害への対応について「具体策が示されていない」と批判。政府が既に設置した３００億円規模の基金とは「別建て」で、燃料調達などを支援する超大型基金を創設することを求めた。
****
[2] *[特集] 新型コロナウイルス感染症*
[状況]
◇省庁発表
・新型コロナウイルス感染症（変異株）の患者等の発生について（検疫）

＜厚生労働省　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=8xbbvHuXmi_RoythY
・新型コロナウイルス感染症の患者等の発生について（検疫）
＜厚生労働省　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=U7Z7HNs3Oo9xArfBY
・新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和４年６月 27 日版）
＜厚生労働省　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3a73Bv3-k-xwnYBY
・地域ごとの感染状況等の公表について更新しました
＜厚生労働省　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=U7Z7HNs3Oo9xAr3BY

◇自宅療養者、依然 10 万人近く　新型コロナ、再拡大懸念も
＜共同通信　2022 年 6 月 26 日＞　https://nordot.app/913675321973882880?c=39546741839462401
　ピーク時には 50 万人を超えたコロナ感染による全国の自宅療養者は、6 月下旬になっても依然として 10 万人近い高水準が続いている。新規感染者数が増えた地域もあり、感染再拡大が懸念される。専門家は「ワクチンなどで重症化は抑えられている」とした上で、感染防止策を続けるよう呼びかけている。
　厚生労働省は毎週、自宅療養者数を公表。最新の 6 月 22 日時点では 9 万 7950 人で、前週から約 8 千人減少した。
　「第 6 波」での自宅療養者は 1 月 12 日に約 1 万 9 千人だったが、感染力が強いオミクロン株の影響で、翌週には約 10 万 3 千人に急増。さらに 2 月中旬には約 57 万 8 千人まで膨らんだ。

◇マスコミ報道　見出し
・全国 9572 人の新規感染者…10 日連続で前週同曜日を上回る
＜日テレ NEWS　2022 年 6 月 27 日＞
https://news.ntv.co.jp/category/society/e78539832b0b4c51813eab0448c078db/

・東京の新規感染 1517 人　10 日連続で前週同曜日を上回る　新型コロナ
＜テレ朝 news　2022 年 6 月 27 日＞　https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000259312.html
----

[対策・予防]
◇ワクチン、検査薬、治療薬等
・新型コロナワクチン３回目接種の接種対象者数と接種状況について更新しました。
＜厚生労働省　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3a73Bv3-k-xwnUBY

◇マスク
・学校のマスク効果 23%　専門家提言「過剰な対策強いるべきでない
＜朝日新聞　2022 年 6 月 1 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASQ616HTHQ61UTFL013.html
　新型コロナウイルス対策を政府に助言する専門家の有志は 1 日、マスクなど政府が求める子どもの感染対策について妥当性を分析し、今後の医療体制についても提言した。
　子どもたちに過剰な対策を強いず、もし感染しても適切な治療につなげることが大切だと指摘。感染対策やワクチン接種をするなど「われわれ大人が努力すべきだ」とした。
　提言は、小児科医を中心に岡部信彦・川崎市健康安全研究所長ら 15 人がまとめた。
■「遊びと学びを奪うことがな…
****
[3] 労働安全衛生法第五十七条の四第三項の規定に基づき新規化学物質の名称を公表する件（厚生労働省告示第 214 号）

［官報］　令和4年6月27日　号外　第137号　36～46頁
https://kanpou.npb.go.jp/20220627/20220627g00137/20220627g001370036f.html

〇厚生労働省告示第 214 号

労働安全衛生法（昭和四十七年法律第五十七号）第五十七条の四第一項に規定する新規化学物質について同項の規定による届出があつたので、同条第三項の規定に基づき、その名称を次のとおり公表する。

令和４年６月27日　　厚生労働大臣　　後藤　茂之

通し番号	名　　称	整理番号
30036	［亜鉛＝２－エチルヘキサノアート＝プロパノアートと亜鉛＝ジプロパノアートと亜鉛＝ビス（２－エチルヘキサノアート)］を主成分とする，２－エチルヘキサン酸と酸化亜鉛とプロパン酸の反応生成物	2-(4)-1358
30037	２，２’－アザンジイルジ（エタン－１－オール）と｛［(クロロメチル）オキシラン・４，４’－(プロパン－２，２－ジイル）ジフェノール重縮合物］・(｛(クロロメチル）オキシラン・［４，４’－(プロパン－２，２－ジイル）ジフェノール・メチルオキシラン重付加物］重縮合物｝・４，４’－(プロパン－２，２－ジイル）ジフェノール重付加物）重付加物｝の付加反応生成物	10-4188
30038	２－［２－（２－アミノエトキシ）エトキシ］エタン－１－オール	2-(8)-922
30039	４－［２－（２－アミノ－４－オキソ－４，７－ジヒドロ－１Ｈ－ピロロ［２，３－ｄ］ピリミジン－５－イル）エチル］安息香酸	8-(2)-2929
30040	Ｎ－｛４－［２－（２－アミノ－４－オキソ－４，７－ジヒドロ－１Ｈ－ピロロ［２，３－ｄ］ピリミジン－５－イル）エチル］ベンゾイル｝－Ｌ－グルタミン酸	8-(2)-2930
30041	Ｎ－｛４－［２－（２－アミノ－４－オキソ－４，７－ジヒドロ－１Ｈ－ピロロ［２，３－ｄ］ピリミジン－５－イル）エチル］ベンゾイル｝－Ｌ－グルタミン酸－（メタンスルフィニル）メタン（１／２）	8-(2)-2931
30042	５－アミノ－４－ヒドロキシ－３－［(２－ヒドロキシ－３，５－ジニトロフェニル）ジアゼニル］ナフタレン－２，７－ジスルホン酸	5-1576
30043	rac－４－［(１Ｒ，２Ｓ）－２－アミノ－１－ヒドロキシプロピル］フェノール	4-(10)-1516
30044	(２Ｓ）－２－アミノ－３－｛２－フルオロ－４－［(プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］フェニル｝プロパン酸	4-(4)-1464
30045	［α－｛１－（アルキル（Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－［(プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］プロパン－２－イル｝－ω－ヒドロキシポリ（オキシエタン－１，２－ジイル）を主成分とする。(アルカノール（Ｃ＝10～14、分枝型）と｛［(プロパ－２－エン－	9-4018
30046	２，５－アンヒドロ－１－デオキシ－１－（Ｎ－メチルオクタンアミド）－Ｄ－グルシトールと２，５－アンヒドロ－１－デオキシ－１－（Ｎ－メチルデカンアミド）－Ｄ－グルシトールの混合物	11-(4)-994
30047	［アンモニウム＝α－｛１－（アルキル(Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－［(プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］プロパン－２－イル｝－ω－（スルホナトオキシ）ポリ（オキシエタン－１，２－ジイル）を主成分とする，(アルカノール（Ｃ＝10～14、分枝型）と｛［(プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］メチル｝オキシランの反応生成物)・オキシラン重付加物の硫酸エステル化反応生成物のアンモニウム塩］・｛［エテニルトリ（エトキシ）シランの加水分解反応生成物］重縮合物｝・ブチル＝プロパ－２－エノアート・プロパ－２－エン酸・プロパ－２－エンニトリル・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4019
30048	（５－イソシアナト－１－（イソシアナトメチル）－１，３，３－トリメチルシクロヘキサン・１，１’－｛［３－（ジメチルアミノ）プロピル］アザンジイル｝ジ（プロパン－２－オール）・α－ヒドロ－ω－ヒドロキシポリ（オキシブタン－１，４－ジイル）・水・１，１’－メチレンビス（４－イソシアナトシクロヘキサン）重縮合物）と酢酸の塩	10-4189

30049	（２－イソシアナトエチル＝２－メチルプロパ－２－エノアートと｛末端に（２－ヒドロキシエチル）スルファニル基を有する，メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・α－メチル－ω－［(２－メチルプロパ－２－エノイル）オキシ］ポリ（オキシエタン－１，２－ジイル）共重合物｝の付加反応生成物)・４－｛２－［(２－メチルプロパ－２－エノイル）オキシ］エトキシ｝－４－オキソブタン酸・２－メチルプロパ－２－エン酸共重合物	9-4020
30050	２，５－アンヒドロ－１－デオキシ－１－（Ｎ－メチルオクタンアミド）－Ｄ－グルシトールと２，５－アンヒドロ－１－デオキシ－１－（Ｎ－メチルデカンアミド)－Ｄ－グルシトールの混合物	10-4190
30051	イムデビマブ（遺伝子組換え）	11-(4)-995
30052	N^1，$N^{1'}$－(エタン－１，２－ジイル）ジ（エタン－１，２－ジアミン)・［(クロロメチル）オキシラン・４，４’－(プロパン－２，２－ジイル）ジフェノール重縮合物］・N^1，$N^{1'}$－ビス（２－アミノエチル）エタン－１，２－ジアミン・N^1－［２－（ピペラジン－１－イル）エチル］エタン－１，２－ジアミン・２，２’－（ピペラジン－１，４－ジイル）ジ（エタン－１－アミン)・１，１’－(１，３－フェニレン）ジメタンアミン・［(２－メチルフェノキシ）メチル］オキシラン重付加物	10-4191
30053	１，１’－(エタン－１，２－ジイル）ビス（４－ニトロベンゼン）（主成分）と１，１’－(エテン－１，２－ジイル）ビス（４－二トロベンゼン）と1^4，10^4－ジニトロ－５，６－ジアザ－１，10(１)，４，７(１，４)－テトラベンゼナデカファン－２，５，８－トリエンの混合物	7-(4)-1434
30054	エチル＝７－（６－アミノ－５－シアノピリジン－３－イル）－１－シクロプロピル－６－フルオロ－８－メチル－４－オキソート４－ジヒドロキノリン－３－カルボキシラート	8-(1)-4572
30055	Ｎ－エチルエタンアミンと｛［オキシラン・２，２－ビス（ヒドロキシメチル）プロパン－１，３－ジオール・メチルオキシラン重付加物］と２－（［１，１’－ビフェニル］－４－カルボニル）安息香酸とプロパ－２－エン酸のエステル化反応生成物｝の付加反応生成物	10-4192
30056	エチル＝１－シクロプロピル－６－フルオロ－７－ヨード－８－メチル－４－オキソ－１，４－ジヒドロキノリン－３－カルボキシラート	8-(1)-4573
30057	１－エチルシクロペンチル＝５－エテニル－２－ヒドロキシベンゾアート	4-(7)-2716
30058	１－エチルシクロペンチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・３－シアノ－２－オキソヘキサヒドロ－２Ｈ－３，５－メタノシクロペンタ［ｂ］フラン－６－イル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4021
30059	エチル＝４－(４，４，５，５－テトラメチル－１，３，２－ジオキサボロラン－２－イル）ブタノアート	8-(9)-192
30060	エチル＝プロパ－２－エノアート・ジエテニルベンゼン・ナトリウム＝４－エテニルベンゼン－１－スルホナート・２－メチルプロパ－２－エン酸・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4022
30061	２－エチルヘキシル＝２－（４－エトキシ－２－ヒドロキシフェニル）－２Ｈ－１，２，３－ベンゾトリアゾール－５－カルボキシラート	8-(3)-1575
30062	２－エチルヘキシル＝２－(２，４－ジヒドロキシフェニル）－２Ｈ－１，２，３－ベンゾトリアゾール－５－カルボキシラート	8-(3)-1576
30063	２－エチルヘキシル＝プロパ－２－エノアート・エチニルベンゼン・［カリウム＝α－｛１－（アルキル（Ｃ＝10～14、分枝型）オキシ）－３－［(プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］プロパン－２－イル｝－ω－（スルホナトオキシ）ポリ（オキ	9-4023

	シエタン－１，２－ジイル）を主成分とする、(アルカノール（C＝10～14、分枝型）と｛[(プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］メチル｝オキシランの反応生成物)・オキシラン重付加物の硫酸エステル化反応生成物のカリウム塩]・プロパ－２－エンニトリル・２－メチルプロパ－２－エン酸共重合物	
30064	２－エチルヘキシル＝プロパ－２－エノアート・エチニルベンゼン・[カリウム＝α－｛１－（アルキル(C＝10～14、分枝型）オキシ）－３－［(プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］プロパン－２－イル｝－ω－（スルホナトオキシ）ポリ（オキシエタン－１，２－ジイル）を主成分とする、(アルカノール(C＝10～14、分枝型）と｛[(プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］メチル｝オキシランの反応生成物)・オキシラン重付加物の硫酸エステル化反応生成物のカリウム塩]・プロパ－２－エンニトリル・２－メチルプロパ－２－エン酸共重合物のカリウム塩	9-4024
30065	（２－エチルヘキシル＝ホスファト－κ^{2}0，0’（１－｛［(９Ｚ）－オクタデカ－９－エン－１－イル］オキシ｝-1，３－ジ（オキソ－κO）ブタン－２－イド）アルミニウムを主成分とする、２－エチルヘキシル＝二水素＝ホスフアートと（１－｛[（９Ｚ）－オクタデカ－９－エン－１－イル］オキシ｝－１，３－ジ（オキソ－κO）ブタン－２－イド）ジ（プロパン－２－オラト－κO）アルミニウムの反応生成物	1-(1)-822
30066	エチル＝メチル｛(３Ｓ)－３－［(ナフタレン－１－イル）オキシ］－３－（チオフェン－２－イル）プロピル｝カルバマート	8-(6)-371
30067	５－エテニルビシクロ［２．２．１］ヘプタ－２－エン・(ビシクロ[２．２．１]ヘプタ－５－エン－２－イル）メチル＝アセタート共重合物（開環重合物を含まないものに限る。)	9-4025
30068	５－エテニル－２－ヒドロキシ安息香酸	4-(4)-1465
30069	エチニルベンゼン・ナトリウム＝４－エテニルベンゼン－１－スルホナート・ブチル＝プロパ－２－エノアート・プロパ－２－エン酸・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4026
30070	エトキシエテンと［ジメチル＝２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルプロパノアート）を開始剤とする、４－エテニルフェノール・tert－ブチル＝プロパ－２－エノアート共重合物］と（ホルムアルデヒド・３－メチルフェノール重縮合物）のアセタール化反応生成物	9-4027
30071	４－（１－エトキシエトキシ）シクロヘキサン－１－オン	3-(4)-843
30072	８－（１－エトキシエトキシ）－３－メチリデン－１－オキサスピロ［４．５］デカン－２－オン	8-(4)-2205
30073	４－エトキシ－１，１，１－トリフルオロブタ－３－エン－２－オン	2-(8)-923
30074	塩化アンモニウムとタンニン(ブラックワトル樹皮由来)とホルムアルデヒドの反応生成物	10-4193
30075	１，４－オキサチアン	8-(8)-60
30076	［(オキサン－２－オン・オキセパン－２－オン重付加物)とα－ヒドロ－ω－メトキシポリ(オキシエタン－１，２－ジイル)のエステル化反応生成物］とリン酸のエステル化反応生成物	10-4194
30077	２，２’－オキシジ(エタン－１－オール)・１，３－ジイソシアナト－２－メチルベンゼン・２，４－ジイソシアナト－１－メチルベンゼン・[ジエチル＝カルボナート・(ブタン－１，４－ジオール重縮合物)重縮合物]・α－ヒドロ－ω－ヒドロキシポリ(オキシブタン－１，４－ジイル)重付加物	10-4195
30078	４，４’－オキシジフェノール・４，４’－オキシジベンゾイル＝ジクロリド・１^{3}，	10-4196

	３^{3}－ジメチル－２^{3}，２^{4}，２^{5}，２^{6}－テトラヒドロ－２^{2}Ｈ－［１^{1}，２^{1}，２^{1}，３^{1}－テルフェニル］－１^{4}，３^{4}－ジオール・２，６－ジメチルフェノール・ベンゼン－１，４－ジカルボニル＝ジクロリド重縮合物	
30079	オキシビス［メチレン(２－{［(プロパ－２－エノイル)オキシ］メチル} プロパン－２，１，３－トリイル)］＝テトラ(プロパ－２－エノアート)と(１，１’－(オクタヒドロ－１Ｈ－４，７－メタノインデン－１，５－ジイル)ジメタノール・１，１’－(オクタヒドロ－１Ｈ－４，７－メタノインデン－１，６－ジイル)ジメタノール・１，１’－(オクタヒドロ－１Ｈ－４，７－メタノインデン－２，５－ジイル)ジメタノール・{トリス［(５－イソシアナト－１，３，３－トリメチルシクロヘキシル)メチル］－１，３，５－トリアジナントリオンを主成分とする，５－イソシアナト－１－(イソシアナトメチル)－１，３，３－トリメチルシクロヘキサンの三量体化反応生成物}・２－(ヒドロキシメチル)－２－［(３－［(プロパ－２－エノイル)オキシ］－２，２－ビスド(プロパ－２－エノイル)オキシ］メチル} プロポキシ)メチル］プロパン－１，３－ジイル＝ジ(プロパ－２－エノアート)重付加物} の混合物	10-4197
30080	オキシラニルメチル＝２－(４，４－ジメチルベンタン－２－イル)－５，７，７－トリメチルオクタノアート	8-(4)-2206
30081	オキシラニルメチル＝２－メチルプロパ－２－エノアートと(２，４，４－トリメチルベンタン－２－イル＝２－エチルヘキサンペルオキソアートを開始剤とする，エテニルベンゼン・tert－ブチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・ベンジル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・２－メチルプロパ－２－エン酸共重合物)のエステル化反応生成物	9-4028
30082	オキシラニルメチル＝２－メチルプロパ－２－エノアートと(２，４，４－トリメチルベンタン－２－イル＝２－エチルヘキサンペルオキソアートを開始剤とする，エチニルベンゼン・ベンジル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・２－メチルプロパ－２－エン酸・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物)のエステル化反応生成物	9-4029
30083	［オキシラン・２，２－ビス(ヒドロキシメチル）プロパン－１，３－ジオール・メチルオキシラン重付加物］と２－(［１，１’－ビフェニル］－４－カルボニル）安息香酸とプロパ－２－エン酸のエステル化反応生成物	10-4198
30084	オキシラン・(メチルオキシラン重付加物）重付加物の硫酸エステル化反応生成物のアンモニウム塩	10-4199
30085	(９－オキソ－９Ｈ－チオキサンテン－２－イルバ４－［(９－オキソ－９Ｈ－チオキサンテン－２－イル）スルファニル］フェニル}（フェニル）スルファニウム＝テトラキス(ペンタフルオロフェニル）ボラヌイド	8-(6)-372
30086	２－オキソ－Ｎ－［３－(トリメトキシシリル）プロピル］アゼパン－１－カルボキシアミドを主成分とする，アゼパン－２－オンと(３－クロロプロピル）トリ(メトキシ）シランとシアン酸カリウムの反応生成物	8-(1)-4574
30087	オキソラン－２，５－ジオン・{［(クロロメチル）オキシランと(フェノール・ホルムアルデヒド重縮合物）の縮合反応生成物］と２－メチルプロパ－２－エン酸のエステル化反応生成物} 重付加物	10-4200
30088	オクタ－１－エン重合物の水素化反応生成物	9-4030
30089	オクタデシル＝プロパ－２－エノアート・３－［ジメトキシ(メチル）シリル］プロピル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・ドデシル＝プロパ－２－エノアート・ブチル＝プロパ－２－エノアート共重合物	9-4031

30090	Ｐ，Ｐ’－［(１Ｍ)－５，５’，６，６’，７，７’８，８’－オクタヒドロ［１，１’－ビナフタレン］－２，２’－ジイル］ビス(ジフェニルホスファン)	7-(1)-1035
30091	(１Ｍ)－５，５’，６，６’，７，７’，８，８’－オクタヒドロ［１．１’－ビナフタレン］－２，２’－ジイル＝ビス(トリフルオロメタンスルホナート)	7-(1)-1036
30092	(１Ｍ)－５，５’，６，６’，７，７’，８，８’－オクタヒドロ［１，１’－ビナフタレン］－２，２’－ジオール	7-(1)-1037
30093	(オクタヒドロ－１Ｈ－４，７－メタノインデン－１，５(又は１，６又は２，５)－ジイル）ビス(メチレン）＝ビス(２－メチルプロパ－２－エノアート）を主成分とする，１，１’－(オクタヒドロ－１Ｈ－４，７－メタノインデン－１，５－ジイル)ジメタノールと１，１’－(オクタヒドロ－１Ｈ－４，７－メタノインデン－１，６－ジイル）ジメタノールと１，１’－(オクタヒドロ－１Ｈ－４，７－メタノインデン－２，５－ジイル）ジメタノールとメチル＝２－メチルプロパ－２－エノアートの反応生成物	7-(1)-1038
30094	オクタン二酸・４’，６’－ジメチル［２，２’－ビ－１，３－ベンソチアアゾール］－４，７－ジオール・４－｛［４－（｛６－［(プロパ－２－エノイル）オキシ］ヘキシル｝オキシ）フェノキシ］カルボニル｝シクロヘキサン－１－カルボン酸・ヘキサンニ酸重縮合物	10-4201
30095	カシリビマブ（遺伝子組換え）	11-(4)-996
30096	カリウム＝４－エテニルベンゼン－１－スルホナート・カリウム＝プロパ－２－エノアート・カリウム＝２－メチルプロパ－２－エノアート・ジエテニルベンゼン共重合物	9-4032
30097	カルシウム＝ビス［(３Ｒ)－３－ヒドロキシブタノアート］	2-(4)-1359
30098	２－｛［８－（２－カルボキシ－３，４，５，６－テトラクロロベンズアミドバスルホ）キノリン－２－イル］アセチル｝－３，４，５，６－テトラクロロ安息香酸と２－(４，５，６，７－テトラクロロ－１，３－ジオキソ－２，３－ジヒドロ－１Ｈ－インデン－２－イル)－８－(４，５，６，７－テトラクロロ－１，３－ジオキソ－１，３－ジヒドロ－２Ｈ－イソインドール－２－イル）キノリンスルホン酸と２，３，４，５－テトラクロロ－６－｛［スルホ－２－(４，５，６，７－テトラクロロ－１，３－ジオキソ－２，３－ジヒドロ－１Ｈ－インデン－２－イル）キノリン－８－イル］カルバモイル｝安息香酸と銅＝ビス｛８－（２－カルボキシ－３，４，５，６－テトラクロロベンズアミド）－２－［２－（２－カルボキシ－３，４，５，６－テトラクロロフェニル）－２－オキソエチル］キノリンスルホナート｝と銅＝ビス［８－(２－カルボキシ－３，４，５，６－テトラクロロベンズアミド)－２－(４，５，６，７－テトラクロロ－１，３－ジオキソ－２，３－ジヒドロ－１Ｈ－インデン－２－イル）キノリンスルホナート］と銅＝ビス［２－(４，５，６，７－テトラクロロ－１，３－ジオキソ－２，３－ジヒドロ－１Ｈ－インデン－２－イル)－８－(４，５，６，７－テトラクロロ－１，３－ジオキソ－１，３－ジヒドロ－２Ｈ－イソインドール－２－イル）キノリンスルホナート］の混合物	8-(1)-4575
30099	α－（カルボキシメチル）－ω－メトキシポリ（オキシエタン－１，２－ジイル）	10-4202
30100	カルボニル＝ジクロリド・４，４’－［１，３－フェニレンジ（プロパン－２，２－ジイル)］ジフェノール・４－tert－ブチルフェノール・４，４’－(９Ｈ－フルオレン－９，９－ジイル）ビス（２－メチルフェノール）重縮合物	10-4203
30101	カルボニル＝ジクロリド・４，４’－［１，３－フェニレンジ（プロパン－２，２－ジイル)］ジフェノール・４，４’－(９Ｈ－フルオレン－９，９－ジイル）ビス（２－メチルフェノール)・ヘキサデシル＝４－ヒドロキシベンゾアート重縮合物	10-4204

30102	３－カルボノクロリドイルアダマンタン－１－イル＝２－メチルプロパ－２－エノアート	7-(2)-396
30103	ギ酸と１，４－ジブロモベンゼンとジメチル＝（１Ｒ，２Ｓ，３Ｒ，４Ｓ）－ビシクロ［２．２．１］ヘプタ－５－エン－２，３－ジカルボキシラートの反応生成物のテトラメチル＝（１Ｒ，１’Ｒ，２Ｓ，２’Ｓ，３Ｒ，３’Ｒ，４Ｓ，４’Ｓ，５Ｓ，５’Ｓ）－５，５’－（１，４－フェニレン）ジ（ビシクロ［２．２．１］ヘプタン－２，３－ジカルボキシラート）晶出物のろ過により得られるろ液	12-1219
30104	［（１→６）－Ｄ－グルコピラナンのＯ－（３，４－ジカルボキシラート－３－ヒドロキシブタノイル）化反応生成物のナトリウム塩］のアルキル(C＝10，12，14，16、直鎖型）グリコシド	11-(4)-997
30105	１－クロロ－11，11－ジエトキシウンデカ－４－イン	2-(12)-334
30106	Ｎ－｛４－［クロロジ（フルオロ）メトキシ］フェニル｝－６－［(３Ｒ)－３－ヒドロキシピロリジン－１－イル］－５－（１Ｈ－ピラソール－３－イル）ピリジン－３－カルボキシアミド－塩化水素（１／１）	8-(1)-4576
30107	10－クロロデカ－３，６－ジイン	2-(13)-331
30108	(３Ｚ，６Ｚ)－10－クロロデカ－３，６－ジエン	2-(13)-332
30109	６－クロロ－２－［２－ヒドロキシ－５－(２，４，４－トリメチルペンタン－２－イル）フェニル］－２Ｈ－１，２，３－ベンソトリアゾール＝１－オキシド	8-(3)-1577
30110	２－（５－クロロ－２Ｈ－１，２，３－ベンゾトリアソール－２－イル)－４－(２，４，４－トリメチルペンタン－２－イル）フェノール	8-(3)-1578
30111	２－（５－クロロ－２Ｈ－１，２，３－ベンソトリアソール－２－イル）－５－（ヘキシルオキシ）フェノール	8-(3)-1579
30112	（｛(クロロメチル）オキシランとα－ヒドロ－ω－（１－ヒドロキシ（又はメトキシ）ナフタレニル）ポリ［(１－ヒドロキシ（又はメトキシ）ナフタレンジイル）メチレン－１，４－フェニレンメチレン］の縮合反応生成物｝とプロパ－２－エン酸のエステル化反応生成物)・３a，４，７，７a－テトラヒドロ－２－ベンソフラン－１，３－ジオン重付加物	10-4205
30113	４－クロロ－２－メチルチエノ［２，３－ｄ］ピリミジン	8-(2)-2932
30114	Ｎ－（３－クロロ－２－メチルフェニル）－２－（メトキシメチル）－６－［２－（トリフルオロメチル）ベンズアミド］－１Ｈ－１，３－ベンゾイミダゾール－４－カルボキシアミド	8-(2)-2933
30115	１－（クロロメチル）－２－フルオロ－４－［(プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］ベンゼン	4-(14)-489
30116	サルコシンオキシダーゼ（Arthrobactersp. のサルコシンオキシダーゼ産生遺伝子を導人したEscherichiacoli）	11-(2)-275
30117	４，11－ジアセチル－７^{2}，８^{3}－ジクロロ－３，12－ジオキソ－２，５，６，９，10，13－ヘキサアザ－１，14(１)，７，８(１，４)－テトラベンゼナテトラデカファン－５，９－ジエン－14－スルホン酸を主成分とする，３－オキソ－Ｎ－フェニルブタンアミドと４－（３－オキソブタンアミド）ベンゼン－１－スルホン酸と(３，３’－ジクロロ［１，１’－ビフェニル］－４，４’－ジアミンのジアゾ化反応生成物）の反応生成物	7-(1)-1039
30118	４，11－ジアセチル－７^{2}，８^{3}－ジクロロ－14^{2}，14^{4}－ジメチル－３，12－ジオキソ－２，５，６，９，10，13－ヘキサアザ－１，14(１)，７，８(１，４)－テトラベンゼナテトラデカファン－５，９－ジエン－１^{2}－カルボン酸を主成分とする，２－(３－オキソブタンアミド）安息香酸と［３，３’－ジクロロロ，１’－ビフェニ	7-(1)-1040

	ル］－４，４’－ジアミンのジアソ化反応生成物）とＮ－（２，４－ジメチルフェニル）－３－オキソブタンアミドの反応生成物	
30119	１，１－ジアゼンジイルジ（シクロヘキサン－１－カルボニトリル）及び２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルプロパンニトリル）を開始剤とし，オクタン－１－チオール，３－スルファニルプロパン酸，ドデカン－１－チオール及び２－メチルウンデカン－２－チオールを連鎖移動剤とする，エテニルベンゼン・２－メチルプロパ－２－エン酸・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4033
30120	４，４’－ジアゼンジイルビス（４－シアノペンタン酸）を開始剤とする，アンモニウム＝α－［４－ノニル－２－（プロパ－１－エン－１－イル）フェニル］－ω－（スルホナトオキシ）ポリ（オキシエタン－１，２－ジイル）・２－エチルヘキシル＝プロパ－２－エノアート・シクロヘキシル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・α－｛３－［３－（２Ｈ－１，２，３－ベンゾトリアゾール－２－イル）－５－tert－ブチル－４－ヒドロキシフェニル］プロパノイル｝－ω－［(｛２－［(２－メチルプロパ－２－エノイル）オキシ］エチル｝カルバモイル）オキシ］ポリ（オキシエタン－１，２－ジイル)・１，２，２，６，６－ペンタメチルピペリジン－４－イル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・Ｎ－（２－メチル－４－オキソペンタン－２－イル）プロパ－２－エンアミド・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4034
30121	２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルブタンニトリル）及び２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルプロパンニトリル）を開始剤とする，エチニルベンゼン・ブチル＝プロパ－２－エノアート・２－メチルプロパ－２－エン酸・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4035
30122	２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルブタンニトリル）及び２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルプロパンニトリル）を開始剤とする，エチニルベンゼン・ベンジル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・２－メチルプロパ－２－エン酸共重合物	9-4036
30123	２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルブタンニトリル）及び２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルプロパンニトリル）を開始剤とする，エテニルベンゼン・２－メチルプロパ－２－エン酸・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4037
30124	２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルブタンニトリル），２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルプロパンニトリル）及び tert－ブチル＝２－エチルヘキサンペルオキソアートを開始剤とする，アルキル(C＝12，13､直鎖型及び分枝型）＝２－メチルプロパ－２－エノアート・エチル＝プロパ－２－エノアート・エチニルベンゼン・シクロヘキシル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・２－ヒドロキシエチル＝プロパ－２－エノアート・２－ヒドロキシエチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・２－（２－ヒドロキシエトキシ）エチル＝プロパ－２－エノアート・２－（２－ヒドロキシエトキシ）エチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・ブチル＝プロパ－２－エノアート・tert－ブチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・α－｛２－［(２－メチルプロパ－２－エノイル）オキシ］エチル｝－ω－ヒドロキシポリ［オキシ（１－オキソヘキサン－１，６－ジイル)］・２－メチルプロパ－２－エン酸・２－メチルプロピル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4038
30125	２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルプロパンニトリル）を開始剤とし，ドデカン－１－チオールを連鎖移動剤とする，２－(ジメチルアミノ）エチル＝２－メチ	9-4039

	ルプロパ－２－エノアート・２－ヒドロキシエチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・ブチル＝プロパ－２－エノアート・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	
30126	２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルプロパンニトリル）を開始剤とする，４－エテニルフェノール・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4040
30127	Ｎ’－（シアノアセチル）－２－フェニルアセトヒドラジド	4-(7)-2717
30128	２－シアノ－２－（３－イミノ－２，３－ジヒドロ－１Ｈ－イソインドール－１－イリデン）－Ｎ－メチルアセトアミド	8-(1)-4577
30129	２－シアノ－２－［３－(１，３－ジメチル－２，４，６－トリオキソ－１，３－ジアジナン－５－イリデン)－２，３－ジヒドロ－１Ｈ－イソインドール－１－イリデン］－Ｎ－メチルアセトアミド	8-(2)-2934
30130	２－シアノ－Ｎ－メチルアセトアミド	2-(6)-2171
30131	２，４－ジイソシアナト－１－メチルベンゼン・α－ヒドロ－ω－ヒドロキシポリ［オキシ（メチルエタン－１，２－ジイル)］・{［３－（ペンタデカ－８－エン－１－イル）フェノールと３－（ペンタデカ－８，11－ジエン－１－イル）フェノールと３－（ペンタデカ－８，11，14－トリエン－１－イル）フェノールと３－ペンタデシルフェノール］を主成分とする，カシューナッツ殻液}重付加物	10-4206
30132	Ｎ－［３－（ジエチルアミノ）プロピル］－２（又は３又は４）－(３，６－ジオキソ－４－フェニル－２，３，５，６－テトラヒドロピロロ［３，４－ｃ］ピロール－１－イル）ベンゼン－１－スルホンアミド	8-(1)-4578
30133	ジエテニルベンゼン・ナトリウム＝４－エテニルベンゼン－１－スルホナート・プロパ－２－エン酸・２－メチルプロパ－２－エン酸共重合物	9-4041
30134	２－({３，３’－ジクロロ－４’－［(３－メチル－５－オキソ－１－フェニル－４，５－ジヒドロ－１Ｈ－ピラゾール－４－イル）ジアゼニル］［１，１’－ビフェニル］－４－イル}ジアゼニル）－３－オキソ－Ｎ－フェニルブタンアミドを主成分とする，３－オキソ－タ－フェニルブタンアミドと(３，３’－ジクロロ［１，１’－ビフェニル］－４，４’－ジアミンのジアゾ化反応生成物）と５－メチル－２－フェニル－２，４－ジヒドロ－３Ｈ－ピラゾール－３－オンの反応生成物	8-(2)-2935
30135	システイン残基の硫黄原子上に平均４個の１－［(10Ｓ)－10－ベンジル－１－{［(１Ｓ，９Ｓ)－９－エチル－５－フルオロ－９－ヒドロキシ－４－メチル－10，13－ジオキソ－２，３，９，10，13，15－ヘキサヒドロ－１Ｈ，12Ｈ－ベンゾ［ｄｅ］ピラノ［３’，４’：６，７］インドリジノ［１，２－ｂ］キノリン－１－イル］アミノ}－１，６，９，12，15，18－ヘキサオキソ－３－オキサ－５，８，11，14，17－ベンタアザトリコサン－23－イル］－２，５－ジオキソピロリジン－３－イル基を有する，ダトポタマブ（遺伝子組換え）	11-(4)-998
30136	２－(２，４－ジヒドロキシフェニル）－２Ｈ－１，２，３－ベンゾトリアゾール－５－カルボン酸	8-(3)-1580
30137	ジフェニル＝カルボナート・２^{3}，２^{3}，２^{5}－トリメチル－２^{3}，２^{4}，２^{5}，２^{6}－テトラヒドロ－２^{2}Ｈ－［１^{1}，２^{1}：２^{1}，３^{1}－テルフェニル］－１^{4}，３^{4}－ジオール・４，４’－(プロパン－２，２－ジイル）ビス（２－メチルフェノール）重縮合物	10-4207
30138	（１Ｍ）－２’－（ジフェニルホスファニル)－５，５’，６，６’，７，７’，８，８’－オクタヒドロ［１，１’－ビナフタレン］－２－イル＝トリフルオロメタンスルホナート	7-(1)-1041
30139	ジフェニルホスファンとトリ（オクチル）ホスファンの混合物	4-(3)-248

30140	ジフェニルホスファン‐ボラン（１／１）	4-(3)-249
30141	（1M）‐２’‐(ジフェニルホスフィノイル)‐５，５’，６，６’，７，７’，８，８’‐オクタヒドロ［１，１’‐ビナフタレン］‐２‐イル＝トリフルオロメタンスルホナート	7-(1)-1042
30142	N，N‐ジ（ブタン‐２‐イル）シランアミン	2-(3)-598
30143	（３，４‐ジフルオロフェニル）メチル＝ビシクロ［２．２．１］ヘプタ‐５‐エン‐２‐カルボキシラート	7-(2)-397
30144	（３Ｓ，11ａＲ）‐Ｎ‐［(２，４‐ジフルオロフェニル）メチル］‐６‐ヒドロキシ‐３‐メチル‐５，７‐ジオキソ‐２，３，５，７，11，11a‐ヘキサヒドロ［１，３］オキサアゾロ［３，２‐ａ］ピリド［１，２‐ｄ］ピラジン‐８‐カルボキシアミド	8-(2)-2936
30145	（３Ｓ，11ａＲ）‐Ｎ‐［(２，４‐ジフルオロフェニル）メチル］‐６‐メトキシ‐３‐メチル‐５，７‐ジオキソ‐２，３，５，７，11，11a‐ヘキサヒドロ［１，３］オキサアゾロ［３，２‐ａ］ピリド［１，２‐ｄ］ピラジン‐８‐カルボキシアミド	8-(2)-2937
30146	ジ（プロパ‐２‐エン‐１‐アミニウム）＝メチリデンブタンジオアート・プロパ‐２‐エン‐１‐アミニウム＝水素＝メチリデンブタンジオアート共重合物	9-4042
30147	ジ（プロパン‐２‐イル)＝２，２’‐［アントラセン‐９，10‐ジイルビス（オキシ)］ジアセタート	7-(1)-1043
30148	α‐(２，６‐ジブロモ‐４‐{２‐［３，５‐ジブロモ‐４‐（２‐タロロエトキシ）フェニル］プロパン‐２‐イル} フェニル）‐ω‐（２‐クロロエトキシ）ポリ［オキシエタン‐１，２‐ジイルオキシ(２，６‐ジブロモ‐１，４‐フェニレン)（ジメチルメチレン）（３，５‐ジブロモ‐１，４‐フェニレン)］	10-4208
30149	α‐［４‐（ジメチルアミノ）ベンゾイル］‐ω‐{［４‐（ジメチルアミノ）ベンゾイル］オキシ} ポリ（オキシエタン‐１，２‐ジイル)	10-4209
30150	１，３‐ジメチル‐１，３‐ジアジナン‐２，４，６‐トリオン	8-(2)-2938
30151	ジメチル＝２，２’‐ジアゼンジイルビス（２‐メチルプロパノアート）を開始剤とする，エテニル（エチル）ベンゼン・オキシラニルメチル＝２‐メチルプロパ‐２‐エノアート・ジエテニルベンゼン・３‐［(２，３‐ジヒドロキシプロピル）スルファニル］‐２‐ヒドロキシプロピル＝２‐メチルプロパ‐２‐エノアート・２，３‐ジヒドロキシプロピル＝２‐メチルプロパ‐２‐エノアート・３‐（６‐ヒドラジニル‐６‐オキソヘキサンヒドラジド）‐２‐ヒドロキシプロピル＝２‐メチルプロパ‐２‐エノアート・ヘキサンジヒドラジドビス（２‐ヒドロキシプロパン‐３，１‐ジイル）＝ビス（２‐メチルプロパ‐２‐エノアート）共重合物	9-4043
30152	ジメチル＝２，２’‐ジアゼンジイルビス（２‐メチルプロパノアート）を開始剤とする，エテニル（エチル）ベンゼン・オキシラニルメチル＝２‐メチルプロパ‐２‐エノアート・ジエテニルベンゼン・２，３‐ジヒドロキシプロピル＝２‐メチルプロパ‐２‐エノアート共重合物	9-4044
30153	ジメチル＝２，２’‐ジアゼンジイルビス（２‐メチルプロパノアート）を開始剤とする，１‐エテニル‐４‐（１‐エトキシエトキシ）ベンゼン・４‐エテニルフェノール・tert‐ブチル＝プロパ‐２‐エノアート共重合物	9-4045
30154	ジメチル＝２，２’‐ジアゼンジイルビス(２‐メチルプロパノアート)を開始剤とする，３‐エチニルフェニル＝アセタート・４‐エチニルフェニル＝アセタート・１‐フェニルシクロヘキシル＝２‐メチルプロパ‐２‐エノアート共重合物	9-4046
30155	ジメチル＝２，２’‐ジアゼンジイルビス(２‐メチルプロパノアート)を開始剤とす	9-4047

	る，３－エテニルフェノール・４－エテニルフェノール・１－フェニルシクロヘキシル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	
30156	ジメチル＝２，２’－ジアゼンジイルビス(２－メチルプロパノアート)を開始剤とする，４－エテニルフェノール・エチニルベンゼン・tert－ブチル＝プロパ－２－エノアート共重合物	9-4048
30157	ジメチル＝２，２’－ジアゼンジイルビス(２－メチルプロパノアート)を開始剤とする，４－エテニルフェノール・１－エテニル－４－[１－(２－メトキシエトキシ)エトキシ]ベンゼン・tert－ブチル＝プロパ－２－エノアート共重合物	9-4049
30158	ジメチル＝２，２’－ジアゼンジイルビス(２－メチルプロパノアート)を開始剤とする，４－エテニルフェノール重合物	9-4050
30159	ジメチル＝２，２’－ジアゼンジイルビス(２－メチルプロパノアート)を開始剤とする，４－エテニルフェノール・１－フェニルシクロペンチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4051
30160	ジメチル＝２，２’－ジアゼンジイルビス(２－メチルプロパノアート)を開始剤とする，４－エテニルフェノール・１－メチルシクロペンチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4052
30161	ジメチル＝２，２’－ジアゼンジイルビス(２－メチルプロパノアート)を開始剤とする，２－エトキシエチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・４－ヒドロキシフェニル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・tert－ブチル＝プロパ－２－エノアート・ブチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・２－メチルプロパ－２－エン酸共重合物	9-4053
30162	ジメチル＝２，２’－ジアゼンジイルビス(２－メチルプロパノアート)を開始剤とする，２－オキソオキソラン－３－イル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・３－ヒドロキシアダマンタン－１－イル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・１－tert－ブチルシクロベンチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4054
30163	ジメチル＝２，２’－ジアゼンジイルビス(２－メチルプロパノアート)を開始剤とする，２－[(１，１－ジオキソヘキサヒドロ－１Ｈ－１λ^{6}－３，５－メタノシクロペンタ[ｃ][１，２]オキサチオール－７－イル)オキシ]－２－オキソエチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・１－(プロパン－２－イル)シクロペンチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4055
30164	ジメチル＝２，２’－ジアゼンジイルビス（２－メチルプロパノアート）を開始剤とする，４－ヒドロキシフェニル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・tert－ブチル＝プロパ－２－エノアート・ブチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・２－メチルプロパ－２－エン酸共重合物	9-4056
30165	４，４－ジメチル－２，６－ジオキサ－１，７(５)－ビス（[２] ベンソフラナ)－３，５(１，４)－ジベンゼナヘプタファン－11，13，71，73－テトラオン・(不飽和脂肪酸（Ｃ＝18）の二量体として得られるタイマー酸(Ｃ＝36 を主成分とする。）を還元しアミノ化して得られるダイマージアミン（カルボキシ基をアミノメチル基にしたものに限る。))・４，４’－(ヘキサフルオロプロパン－２，２－ジイル）ビス（２－アミノフェノール）重縮合物	10-4210
30166	Ｎ，Ｎ－ジメチル－Ｎ－［８－（トリエトキシシリル）オクチル］オクタデカン－１－アミニウム＝クロリド	2-(2)-332
30167	３，５－ジメチル－Ｎ－［３－（トリエトキシシリル）プロピル］－１Ｈ－ピラゾール－１－カルボキシアミド	8-(2)-2939
30168	(３Ｓ)－Ｎ，Ｎ－ジメチル－３－［(ナフタレン－１－イル）オキシ］－３－（チオ	8-(6)-373

	フェン－２－イル）プロパン－１－アミニウム＝二水素＝ホスフアート	
30169	［(N[1]，N[1]－ジメチルプロパン－１，３－ジアミンとα，α’，α”－（フェニルシラントリイル）トリス｛ω－［３－（オキシラニルメトキシ）プロピル］ポリ［オキシ（ジメチルシランジイル)］｝の第四級アンモニウム塩形成反応生成物）とヤシ油脂肪酸のアミド化反応生成物］と２－ヒドロキシプロパン酸の塩	10-4211
30170	３－［ジメトキシ（メチル）シリル］プロピル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・ドデシル＝プロパ－２－エノアート・ブチル＝プロパ－２－エノアート共重合物	9-4057
30171	ダトポタマブ（遺伝子組換え）	11-(4)-999
30172	デオキシリボヌクレアーゼＩ（デオキシリボヌクレアーゼＩ産生遺伝子を導入したBacilluslickeniformis)	11-(2)-276
30173	テトラキス（２－メチルプロパ－２－エノアート－κ[2]O，O’）ジルコニウムを主成分とする，テトラ（プロポキシド－κO）ジルコニウムと２－メチルプロパ－２－エン酸の反応生成物	1-(1)-823
30174	［トリス（６－イソシアナトヘキシル)－１，３，５－トリアジナントリオンを主成分とする，１，６－ジイソシアナトヘキサン重付加物］とα－ブチル－ω－ヒドロキシポリ［オキシエタン－１，２－ジイルノオキシ（メチルエタン－１，２－ジイル)］の反応生成物	10-4212
30175	トリス（N－メチルメタンアミニド－κN)(プロピル－η[5]－シクロペンタジエニド）ジルコニウム	1-(1)-824
30176	４－（トリフルオロメチル）ピリジン－３－カルボン酸	8-(1)-4579
30177	２，４，９－トリメチル－４，７，７－トリス［(プロパ－１－エン－２－イル）オキシ］－３，８－ジオキサ－４，７－ジシラデカ－１，９－ジエンを主成分とする，エテニルトリス［(プロパ－１－エン－２－イル）オキシ］シランと２，４，４－トリメチル－６－メチリデン－１，３，２－ジオキサシリナンとメチルビス［(プロパ－１－エン－２－イル）オキシ］シランの付加反応生成物	2-(3)-599
30178	２，４，４－トリメチル－６－メチリデン－１，３，２－ジオキサシリナン	8-(9)-193
30179	ナトリウム＝３－アミノプロパン－１－スルホナート	2-(4)-1360
30180	ナトリウム＝α－（カルボキシラトメチル）－ω－メトキシポリ（オキシエタン－１，２－ジイル)	10-4213
30181	ナトリウム＝２－(５，６－ジヒドロキシビシクロ［２．２．１］ヘプタン－２－イル)－１，１，２，２－テトラフルオロエタン－１－スルホナートを主成分とする，５－(２－ブロモ－１，12，２－テトラフルオロエチル）ビシクロ［２．２．１］ヘプタン－２，３－ジオールのスルホン化反応生成物のナトリウム塩	7-(2)-398
30182	ナトリウム＝(３Ｒ）－３－ヒドロキシブタノアート	2-(4)-1361
30183	ナトリウム＝ブロモアセタート	2-(4)-1362
30184	（ナフタレン－１－イル）メチル＝プロパ－２－エノアート	5-1577
30185	ナフタレン－１，４－ジカルボニル＝ジクロリド	5-1578
30186	二ナトリウム＝N－｛４－［２－（２－アミノ－４－オキソ－４，７－ジヒドロ－１H－ピロロ[2，３－d]ピリミジン－５－イル）エチル］ベンゾイル｝－L－グルタマート一水（２／５）	8-(2)-2940
30187	ニフッ化キセノン（H)	1-(3)-485
30188	ビス｛５－アミノ－３－［(３，５－ジニトロ－２－オキシド－κO－フェニル）－η[2]－ジアゼニル］－４－オキシド－κO－ナフタレン－２，７－ジスルホナート｝クロム酸（５－）五ナトリウム	1-(1)-825

30189	Ｎ１^{4}，Ｎ３^{4}－ビス（２－エチルフェニル）－Ｎ１^{4}，Ｎ３^{4}－ビス［４－メチルフェニル[11，２^{1}：２^{4}，３^{1}－テルフェニル］－１^{4}，３^{4}－ジアミン	7-(3)-1156
30190	Ｎ，Ｎ－ビス（２－エチルヘキシル）－４－フェニル－１，３－チアアゾール－２－アミン	8-(7)-2043
30191	ビス（炭酸）酸化ニセリウム（Ⅲ）－水（１／１）	1-(3)-486
30192	α－［３－（ビス｛３－［(９－ヒドロキシノニル）スルファニル］プロピル｝トリ（オキソ）－１，３，５－トリアジナン－１－イル）－１，１，２，２－テトラフルオロプロピル］－ω－フルオロポリ［オキシ（ヘキサフルオロプロパン－１，３－ジイル)］を主成分とする，９－スルファニルノナン－１－オールとα－（ヘプタフルオロプロピル）－ω－(１，１，２，２－テトラフルオロ－３－［トリオキソジ（プロパ－２－エン－１－イル）－１，３，５－トリアジナン－１－イル］プロポキシ｝ポリ［オキシ（ヘキサフルオロプロパン－１，３－ジイル)］の反応生成物	10-4214
30193	α－｛３－［ビス（６－メチル－３，８－ジオキソ－６－｛[(プロパ－２－エノイル）オキシ］メチル｝－４，９－ジオキサ－19－チア－７－アザドコサ－１－エン－２２－イル）トリ（オキソ）－１，３，５－トリアジナン－１－イル］－１，１，２，２－テトラフルオロプロピル｝－ω－フルオロポリ［オキシ（ヘキサフルオロプロパン－１，３－ジイル)］を主成分とする，２－イソシアナト－２－メチルプロパン－１，３－ジイル＝ジ（プロパ－２－エノアート）とα－［３－（ビス｛３－［(９－ヒドロキシノニル）スルファニル］プロピル｝トリ（オキソ）－１，３，５－トリアジナン－１－イル）－１，１，２，２－テトラフルオロプロピル］－ω－フルオロポリ［オキシ（ヘキサフルオロプロパン－１，３－ジイル)］の反応生成物	10-4215
30194	Ｎ^{1}，Ｎ^{3}－ビス（３－メチルフェニル）－５－［(３－メチルフェニル）スルファモイル］ベンゼン－１，３－ジカルボキシアミド	4-(7)-2718
30195	11(２－ヒドロキシエチル）－７^{6}－(２－メトキシエトキシ）－Ｎ－メチル－３－オキソ－７^{1}Ｈ－６－オキサ－４－アザ－７（５）－インドラ－５(２，４）－ピリジナ－１(４）－ピベリジナ－２(１，４）－ベンゼナヘプタファン－７^{1}－カルボキシアミド	8-(1)-4580
30196	［[９Ｚ，12Ｒ－12－ヒドロキシオクタデカ－９－エン酸を主成分とする，ヒマシ油脂肪酸]・１，１’－［プロパン－２，２－ジイルビス(４，１－フェニレンオキシ)］ジ（プロパン－２－オール）重縮合物	7-(4)-1435
30197	１－ヒドロキシ－Ｎ，２－ジメチルプロパン－２－アミニウム＝プロパ－２－エノアートと１－ヒドロキシ－２－メチルプロパン－２－アミニウム＝プロパ－２－エノアートの混合物	2-(2)-333
30198	２－ヒドロキシ－Ｎ，Ｎ，Ｎ－トリメチル－３－［(２－メチルプロパ－２－エノイル）オキシ］プロパン－１－アミニウム＝クロリド・Ｎ－（ヒドロキシメチル）プロパ－２－エンアミド・tert－ブチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・２－メチルプロピル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・メチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4058
30199	２－ヒドロキシプロパン－１，２，３－トリカルボン酸－５－［(２，４－ジアミノピリミジン－５－イル）オキシ］－２－メトキシ－４－（プロパン－２－イル）ベンゼン－１－スルホンアミド（１／１）	8-(2)-2941
30200	２－ヒドロキシ－３－［(２－メチルプロパ－２－エノイル）オキシ］プロピル＝メチル＝ブタンジオアートを主成分とする，オキシラニルメチル＝２－メチルプロパ－２－エノアートと（オキソラン－２，５－ジオンとメタノールの反応生成物）の反応生成物	2-(6)-2172

30201	２－［４－（２－ヒドロキシ－２－メチルプロパノイル）フェノキシ］エチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート	4-(7)-2719
30202	［1，1’－ビフェニル］－４－カルボアルデヒド・４，４’－（１－フェニルエタン－１，１－ジイル）ジフェノール重縮合物	10-4216
30203	２－（フェニルスルファニル）－９Ｈ－チオキサンテン－９－オン	8-(6)-374
30204	２－（フェニルスルファニル）－９Ｈ－チオキサンテン－９－オンと２－（ベンゼンスルフィニル）－９Ｈ－チオキサンテン－９－オンの混合物	8-(6)-375
30205	６，６’－［１，４－フェニレンビス（オキシ)］ジ（ヘキサン－１－オール）	4-(10)-1517
30206	α－Ｌ－フコピラノシル－（１→２）－β－Ｄ－ガラクトピラノシル－（１→４）－Ｄ－グルコース	11-(4)-1000
30207	２－［({［（ブタン－２－イリデン）アミノ］オキシ} カルボニル）アミノ］エチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・α－［ブチルジ（メチル）シリル］－ω－{３－［(２－メチルプロパ－２－エノイル）オキシ］プロピル} ポリ［オキシ（ジメチルシランジイル)］・１－（モルホリン－４－イル）プロパ－２－エン－１－オン共重合物	9-4059
30208	１，1’－(ブタン－１，４－ジイル）ビス［ジ（プロパ－２－エン－１－イル）－１，３，５－トリアジナントリオン］	8-(3)-1581
30209	ブタンニ酸－11－（２－ヒドロキシエチル）－７^{6}－（２－メトキシエトキシ）－Ｈ－メチル－３－オキソ－７^{1}Ｈ－６－オキサ－４－アザ－７（５）－インドラ－５(２，４)－ピリジナ－１（４）－ピペリジナ－２(１，４)－ベンゼナヘプタファン－７^{1}－カルボキシアミド（３／２）	8-(1)-4581
30210	tert－ブチル＝２－エチルヘキサンペルオキソアートを開始剤とする，{［２－エチル－２－（ヒドロキシメチル）プロパン－１，３－ジオールとヒマシ油と（ヒマシ油の脱水反応生成物）と（ロジンの水素化反応生成物）の反応生成物］・１，1’－(シクロヘキサン－１，４－ジイル）ジメタノール・フラン－２，５－ジオン・２－ベンゾフラン－１，３－ジオン重縮合物}・エテニルベンゼン・２－（ジメチルアミノ）エチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・２－ヒドロキシエチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート・ブチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート共重合物	9-4060
30211	tert－ブチル＝３－［４－（２－エトキシ－１，１－ジフルオロ－２－オキソエトキシ）－７－（１，３－チアアゾール－２－イル）－１，３－ベンゾオキサアゾール－２－イル］－３，６－ジアザビシクロ［３．１．１］ヘプタン－６－カルボキシラート	8-(2)-2942
30212	２－tert－ブチル－４－(３，５－ジ－tert－ブチル－４－オキソシクロヘキサ－２，５－ジエン－１－イリデン）－５－フェニル－２，４－ジヒドロ－３Ｈ－ピラゾール－３－オン	8-(2)-2943
30213	tert－ブチル＝３－［４－(１，１－ジフルオロ－２－ヒドロキシ－２－メチルプロポキシ）－７－（１，３－チアアゾール－２－イル)－１，３－ベンソオキサアゾール－２－イル］－３，６－ジアザビシクロ［３．１．１］ヘプタン－６－カルボキシラート	8-(2)-2944
30214	tert－ブチル＝３－［４－ヒドロキシ－７－(１，３－チアアゾール－２－イル)－１，３－ベンソオキサアソール－２－イル］－３，６－ジアザビシクロ［３．１．１］ヘプタン－６－カルボキシラート	8-(2)-2945
30215	(４－tert－ブチルフェニル）酢酸	4-(4)-1466
30216	２－tert－ブチル－５－フェニル－２，４－ジヒドロ－３Ｈ－ピラソール－３－オン	8-(2)-2946

30217	３－ブチル－２－（２－（３－［２－（３－ブチル－１，１－ジメチル－１，３－ジヒドロ－２Ｈ－ベンソ［ｅ］インドール－２－イリデン］エチリデン］－２－クロロシクロベンダ－１－エン－１－イル｝エテン－１－イル）－１，１－ジメチル－１Ｈ－ベンソ［ｅ］インドール－３－イウム＝ヘキサフルオロ－λ^{5}－ホスファヌイド	8-(1)-4582
30218	tert－ブチル＝３－［４－（ベンジルオキシ）－７－（１，３－チアアゾール－２－イル）－１，３－ベンゾオキサアゾール－２－イル］－３，６－ジアザビシクロ［３．１．１］ヘプタン－６－カルボキシラート	8-(2)-2947
30219	tert－ブチル＝３－［４－（ベンジルオキシ）－７－ブロモ－１，３－ベンゾオキサアゾール－２－イル］－３，６－ジアザビシクロ［３．1．１］ヘプタン－６－カルボキシラート	8-(2)-2948
30220	２－tert－ブチル－４－メチル－６－｛５－［（４－メチルフェニル）スルファニル］－２Ｈ－１，２，３－ベンゾトリアゾール－２－イル｝フェノール	8-(3)-1582
30221	４－［１－（tert－ブトキシカルボニル）ピペリジン－４－イル］安息香酸	8-(1)-4583
30222	２－フルオロ－４－ヒドロキシベンズアルデヒド	4-(10)-1518
30223	２－（３－フルオロフェノキシ）－５－ニトロピリミジン	8-(2)-2949
30224	２－（３－フルオロフェノキシ）ピリミジン－５－アミン	8-(2)-2950
30225	３－｛［２－（３－フルオロフェノキシ）ピリミジン－５－イル］アミノ｝プロパンアミド	8-(2)-2951
30226	｛２－フルオロ－４－［（プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］フェニル｝メタノール	4-(10)-1519
30227	２－フルオロ－４－［（プロパ－２－エン－１－イル）オキシ］ベンズアルデヒド	4-(10)-1520
30228	プロパン－２－イル＝ブロモアセタート	2-(6)-2173
30229	１－ブロモ－５－タロロベンダ－１－イン	2-(13)-333
30230	４－ブロモ－２，６－ジフルオロアニリン	4-(12)-991
30231	｛α－［１，１，２，２，３，３－ヘキサフルオロ－６，６－ジ（プロパ－２－エン－１－イル）ノナ－８－エン－１－イル］－ω－［１，１，２，２－テトラフルオロ－２－（トリフルオロメトキシ）エトキシ］ポリ［オキシ（テトラフルオロエタン－１，２－ジイル）オキシ（オクタフルオロブタン－１，４－ジイル）］とα－（１，１，２，２，３－ペンタフルオロブタ－３－エン－１－イル）－ω－［１，１，２，２－テトラフルオロ－２－（トリフルオロメトキシ）エトキシ］ポリ［オキシ（テトラフルオロエタン－１，２－ジイル）オキシ（オクタフルオロブタン－１，４－ジイル）］｝を主成分とする，［４－（クロロメチル）－４－（プロパ－２－エン－１－イル）ヘプタ－１，６－ジエンとマグネシウムの反応生成物］と（｛ナトリウム＝ボラヌイドとα－（１，１，２，２，３，３－ヘキサフルオロ－４－メトキシ－４－オキソブチル）－ω－［１，１，２，２－テトラフルオロ－２－（トリフルオロメトキシ）エトキシ］ポリ［オキシ（テトラフルオロエタン－１，２－ジイル）オキシ（オクタフルオロブタン－１，４－ジイル）］の反応生成物｝とビス（トリフルオロメタンスルホン酸）無水物の反応生成物）の反応生成物	10-4217
30232	α－｛１，１，２，２，３，３－ヘキサフルオロ－４－［（トリフルオロメタンスルホニル）オキシ］ブチル｝－ω－［１，１，２，２－テトラフルオロ－２－（トリフルオロメトキシ）エトキシ］ポリ［オキシ（テトラフルオロエタン－１，２－ジイル）オキシ（オクタフルオロブタン－１，４－ジイル）］を主成分とする，｛ナトリウム＝ボラヌイドとα－（１，１，２，２，３，３－ヘキサフルオロ－４－メトキシ－４－オキソブチル）－ω－［１，１，２，２－テトラフルオロ－２－（トリフルオロメトキシ）エトキシ］ポリ［オキシ（テトラフルオロエタン－１，２－ジイ	10-4218

	ル）オキシ（オクタフルオロブタン－１，４－ジイル)］の反応生成物｝とビス（トリフルオロメタンスルホン酸）無水物の反応生成物	
30233	（α－｛１，１，２，２，３，３－ヘキサフルオロ－９－（トリメトキシシリル）－６，６－ビス［３－（トリメトキシシリル）プロピル］ノニル｝－ω－［１，１，２，２－テトラフルオロ－２－（トリフルオロメトキシ）エトキシ］ポリ［オキシ（テトラフルオロエタン－１，２－ジイル）オキシ（オクタフルオロブタン－１，４－ジイル)］とα－（１，１，２，２，３－ベンタフルオロブタ－３－エン－１－イル）－ω－［１，１，２，２－テトラフルオロ－２－（トリフルオロメトキシ）エトキシ］ポリ［オキシ（テトラフルオロエタン－１，２－ジイル）オキシ（オクタフルオロブタン－１，４－ジイル)］）を主成分とする，｛［４－（クロロメチル）－４－（プロパ－２－エン－１－イル）ヘプタ－１，６－ジエンとマグネシウムの反応生成物］と（｛ナトリウム＝ボラヌイドとα－（１，１，２，２，３，３－ヘキサフルオロ－４－メトキシ－４－オキソブチル）－ω－［１，１，２，２－テトラフルオロ－２－（トリフルオロメトキシ）エトキシ］ポリ［オキシ（テトラフルオロエタン－１，２－ジイル）オキシ（オクタフルオロブタン－１，４－ジイル)］の反応生成物｝とビス（トリフルオロメタンスルホン酸）無水物の反応生成物）の反応生成物｝とトリメトキシシランの反応生成物	10-4219
30234	α－（１，１，２，２，３，３－ヘキサフルオロ－４－ヒドロキシブチル）－ω－［１，１，２，２－テトラフルオロ－２－（トリフルオロメトキシ）エトキシ］ポリ［オキシ（テトラフルオロエタン－１，２－ジイル）オキシ（オクタフルオロブタン－１，４－ジイル)］を主成分とする，ナトリウム＝ボラヌイドとα－（１，１，２，２，３，３－ヘキサフルオロ－４－メトキシ－４－オキソブチル）－ω－［１，１，２，２－テトラフルオロ－２－（トリフルオロメトキシ）エトキシ］ポリ［オキシ（テトラフルオロエタン－１，２－ジイル）オキシ（オクタフルオロブタン－１，４－ジイル)］の反応生成物	10-4220
30235	Ｎ，Ｎ，２，４，６，８－ヘキサメチル－１，３，５，７，２，４，６，８－テトラオキサテトラシロカン－２－アミン	8-(9)-194
30236	１，１，１，２，３，３，３－ヘプタフルオロ－２－（メチルスルファニル）プロパン	2-(12)-335
30237	２－［４－（ベンジルオキシ）フェニル］エタン－１－オール	4-(10)-1521
30238	rac－４－［(1R，２S)－２－(｛２－［４－（ベンジルオキシ）フェニル］エチル｝アミノ）－１－ヒドロキシプロピル］フェノ－ル	4-(10)-1522
30239	rac－（１R，２S)－N－｛２－［４－（ベンジルオキシ）フェニル］エチル｝－１－ヒドロキシ－１－（４－ヒドロキシフェニル）プロパン－２－アミニウム＝クロリド	4-(2)-404
30240	２－［４－（ベンジルオキシ）フェニル］エチル＝メタンスルホナート	4-(8)-354
30241	２－ベンジル－８－（｛２－［ビス（２－エチルヘキシル）アミノ］－４－フェニル－１，３－チアアゾール－５－イル｝イミノ）－７－メチル－５－オキソ－５，８－ジヒドロ［１，２，４］トリアゾロ［１，５－a］ピリジン－６－カルボニトリル	8-(1)-4584
30242	２－ベンジル－５－ヒドロキシ－７－メチル［１，２，４］トリアゾロ［１，５－a］ピリジン－６－カルボニトリル	8-(1)-4585
30243	ベンジル＝ブチル＝シクロヘキサン－１，２－ジカルボキシラート	4-(7)-2720
30244	ベンジル＝４－（ベンジルアミノ）－２，５－ジフルオロ－３－メチルベンゾアート	4-(7)-2721

30245	２－ベンゾフラン－１，３－ジオンを主成分とする，［(ナフタレンの酸化反応生成物）のナフタレン－１，４－ジオン抽出分離後の水層］の２－ベンゾフラン－１，３－ジオン回収時の蒸留残渣	12-1220
30246	マグネシウム＝クロリド＝２，２－ジ（プロパ－２－エン－１－イル）ベンダ－４－エン－１－イドを主成分とする，４－(クロロメチル）－４－（プロパ－２－エン－１－イル）ヘプタ－１，６－ジエンとマグネシウムの反応生成物	1-(2)-318
30247	マグネシウム＝ビス［(３Ｒ)－３－ヒドロキシブタノアート］	2-(4)-1363
30248	マグネシウム＝ビス｛５－メトキシ－２－［(Ｓ)－(４－メトキシ－３，５－ジメチルピリジン－２－イル）メタンスルフィニル］－１Ｈ－１，３－ベンソイミダソール－１－イド｝－水（１／３）	8-(1)-4586
30249	ムコルベプシン(Rhizomucormiehei)(.別名：微生物レンネット(Rhizomucormiehei))	11-(2)-277
30250	メチル＝(2E)－３－｛４－［(１Ｈ－イミダゾール－１－イル）メチル］フェニル｝プロパ－２－エノアート	8-(2)-2952
30251	（２－｛[(１Ｚ)－２－メチルウンデカ－１－エン－１－イル］オキシ｝エチル）ベンゼンと(２－｛[(１Ｅ)－２－メチルウンデカ－１－エン－１－イル］オキシ｝エチル）ベンゼンの混合物	4-(14)-490
30252	メチル＝｛(２Ｓ)－１－［(４－｛３－［５－クロロ－２－フルオロ－３－（メタンスルホンアミド）フェニル］－１－（プロパン－２－イル）－１Ｈ－ピラソール－４－イル｝ピリミジン－２－イル）アミノ］プロパン－２－イル｝カルバマート	8-(2)-2953
30253	メチル＝(４ａＳ，６ａＲ，６ｂＳ，８ａＲ，12ａＳ，14ａＲ，14ｂＳ)－11－シアノ－２，２，６ａ，6b，９，９，12a－ヘプタメチル－10，14－ジオキソ－１，３，４，５，６，６ａ，６ｂ，７，８，８ａ，９，10，12ａ，14，14ａ，14ｂ－ヘキサデカヒドロピセン－４ａ(２Ｈ)－カルボキシラート	7-(1)-1044
30254	１－（メチルスルファニル）プロパン	2-(i2:)-336
30255	４－メチルノナン－５－オール	2-(8)-924
30256	４－メチルノナン－５－オン	2-(8)-925
30257	４－メチルベンゼン－１－スルホン酸－ジエチル＝Ｎ－｛４－［２－（２－アミノ－４－オキソ－４，７－ジヒドロ－１Ｈ－ピロロ［２，３－ｄ］ピリミジン－５－イル）エチル］ベンゾイル｝－Ｌ－グルタマート（１／１）	8-(2)-2954
30258	２－メチルペンタン酸無水物	2-(6)-2174
30259	２，２’－メチレンビス［６－（５－クロロ－２Ｈ－１，２，３－ベンソトリアゾール－２－イル)－４－(２，４，４－トリメチルペンタン－２－イル）フェノール］	8-(3)-1583
30260	４，４’－メチレンビス［２－（５－クロロ－２Ｈ－１，２，３－ベンソトリアソール－２－イル）－５－（ヘキシルオキシ）フェノール］	8-(3)-1584
30261	７^{6}－(２－メトキシエトキシ）－Ｎ－メチル－３－オキソ－７^{1}Ｈ－６－オキサ－４－アザ－７(５)－インドラ－５(２，４)－ピリジナ－１(４)－ピベリジナ－２(１，４)－ベンゼナヘプタファン－７^{1}－カルボキシアミド	8-(1)-4587
30262	２－メトキシ－２－オキソエチル＝２－メチルプロパ－２－エノアート	2-(6)-2175
30263	（３Ｓ，11ａＲ)－６－メトキシ－３－メチル－５，７－ジオキソ－２，３，５，７，11，11a－ヘキサヒドロ［１，３］オキサアソロ［３，２－ａ］ピリド［１，２－ｄ］ピラジン－８－カルボン酸	8-(2)-2955
30264	１－メトキシ－４－［(３Ｚ)－３－メチル－４－（２－フェニルエトキシ）ブタ－３－エン－１－イル］ベンゼン（主成分）と１－メトキシ－４－［(３Ｅ)－３－メチル－４－（２－フェニルエトキシ）ブタ－３－エン－１－イル］ベンゼンの混合物	4-(14)-491

30265	四ナトリウム＝７－{[４－({ビス［(３－スルホナトプロピル) スルファニル］－１，３，５－トリアジニル} アミノ) －３－メトキシフェニル］ジアゼニル} ナフタレン－１，３－ジスルホナート	8-(3)-1585

****

[4] ***肥料***

◇肥料の登録の有効期間を更新した件（農林水産省告示第 1066 号）

［官報］ 令和４年６月 27 日 号外 第 137 号 46～51 頁

https://kanpou.npb.go.jp/20220627/20220627g00137/20220627g001370046f.html

肥料の登録有効期間の更新 201 件が公示された。

◇生産業者の住所及び肥料の名称の変更に係る届出があった件（農林水産省告示第 1067 号）

［官報］ 令和４年６月 27 日 号外 第 137 号 51 頁

https://kanpou.npb.go.jp/20220627/20220627g00137/20220627g001370051f.html

肥料の生産業者の住所及び肥料の名称の変更２件が公示された。

◇肥料の登録が失効した件（農林水産省告示第 1068 号）

［官報］ 令和４年６月 27 日 号外 第 137 号 51～52 頁

https://kanpou.npb.go.jp/20220627/20220627g00137/20220627g001370051f.html

肥料の登録の失効 11 件が公示された。

◇肥料を登録した件（農林水産省告示第 1069 号）

［官報］ 令和４年６月 27 日 号外 第 137 号 52～53 頁

https://kanpou.npb.go.jp/20220627/20220627g00137/20220627g001370052f.html

肥料の新規登録 23 件が公示された。

****

[5] ***食品安全衛生関係***

◇環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律に基づく基盤確立事業実施計画の認定等に関する省令（財務省・厚生労働省・農林水産省・経済産業省・環境省令第３号）

［官報］ 令和４年６月 27 日 号外 第 137 号 1～2 頁

https://kanpou.npb.go.jp/20220627/20220627g00137/20220627g001370001f.html

---

◇環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律施行規則（農林水産省令第 42 号）

［官報］ 令和４年６月 27 日 号外 第 137 号 2～6 頁

https://kanpou.npb.go.jp/20220627/20220627g00137/20220627g001370002f.html

****

[6] ***調査、公募、意見募集等***

[公募、意見募集等]

◇令和３年度（補正予算）環境配慮行動普及促進事業費補助金及び二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業）の３次公募について

＜環境省 2022 年６月 27 日＞ https://www.env.go.jp/press/press_00048.html

---

◇製品・サービスのカーボンフットプリントに係るモデル事業への参加企業募集について

＜環境省 2022 年６月 27 日＞ https://www.env.go.jp/press/press_00079.html

---

◇令和４年度「令和の里海づくり」モデル事業の実施団体の募集について

＜環境省　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.env.go.jp/press/press_00059.html
---

◇「留学生就職促進教育プログラム認定制度」の公募について（令和４年６月 30 日受付開始）
＜文部科学省　2022 年 6 月 27 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/aghGac7Qr5vij8bK

[公募結果、意見募集結果]
◇令和３年度プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業の結果について
＜環境省　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.env.go.jp/press/press_00077.html
****

[7] *その他省庁発表*
◆6月28日も東京電力管内で電力需給が厳しくなる見込みのため引き続き節電のご協力をお願いします【電力需給ひっ迫注意報（第3報）】
＜経済産業省　2022 年 6 月 27 日＞
https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220627006/20220627006.html?from=mj
---

◇種苗法第十八条第一項及び第二十一条の二第三項の規定に基づき品種登録及び届出に係る事項を公示する件（農林水産省告示第 1064 号）
［官報］ 令和４年６月 27 日　本紙　第 763 号　５頁
https://kanpou.npb.go.jp/20220627/20220627h00763/20220627h007630005f.html
---

◇原子力科学技術委員会 核不拡散・核セキュリティ作業部会　「今後の核不拡散・核セキュリティ分野における人材育成について」について
＜文部科学省　2022 年 6 月 27 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/aghGac7Qr5vij8bG
****

[8] *関連会議等の開催案内、記録・報告、資料等*
[開催案内]
・薬事・食品衛生審議会　医療機器・体外診断薬部会（ペーパーレス）を開催します　　７月 11 日、非公開
＜厚生労働省　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=_RjVsnWZlCHfrBxvY
・「中小企業のカーボンニュートラルに向けた支援機関ネットワーク会議」を開催します　　７月 29 日
＜経済産業省　2022 年 6 月 27 日＞
https://www.meti.go.jp/press/2022/06/20220624002/20220624002.html?from=mj
主な対象者：中小企業支援機関
①開会挨拶
②経済産業省による施策説明等（アクションプラン第１弾公表を含む）
③環境省による施策説明等
④先進的支援機関による取組内容紹介
⑤事業者の省エネ・脱炭素化の先進事例紹介
⑥閉会挨拶
・第３回　総合資源エネルギー調査会　電力・ガス事業分科会　原子力小委員会　革新炉ワーキング　７月１日
＜経済産業省　2022 年 6 月 27 日＞
https://wwws.meti.go.jp/interface/honsho/committee/index.cgi/committee/46107
1. 革新炉開発について

[開催記録、報告、資料等]
・第１回転倒防止・腰痛予防対策の在り方に関する検討会議事録　　５月１３日
＜厚生労働省　2022 年 6 月 27 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=5QDNqm2BjDnHtAV3Y

（1）現状と課題について
（2）具体的な対策について
（3）職場において対策を推進するための体制について
（4）支援施策等について
・第 115 回消費者安全調査委員会(令和 4 年 3 月 24 日)の議事次第等を掲載しました。
＜消費者庁　2022 年 6 月 27 日＞https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/meeting_materials_001/#m115
　　・消費者安全調査委員会の今後に関する検討について
　　・個別事案について
・大学院部会（第 107 回）　配付資料　　6 月 16 日
＜文部科学省　2022 年 6 月 27 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/aghGac7Qr5vij8bJ
1. 大学設置基準の改正に伴う大学院設置基準等の改正　について
2. 「総合知」の基本的考え方及び戦略的に推進する方策　中間とりまとめ報告　について
3. 人文科学・社会科学系の大学院教育に関する方向性　中間とりまとめ　について
4. その他
****
[9] ***その他***
◇***インフルエンザ、感染症関係***
・サル痘緊急事態宣言見送り　WHO、警戒継続を訴え
＜共同通信　2022 年 6 月 26 日＞　https://nordot.app/913547228451356672?c=39546741839462401
　世界保健機関（WHO）は 25 日、動物由来のウイルス感染症「サル痘」を巡り 23 日に開催した緊急委員会の協議結果を受け、現時点では「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と認定するには至らなかったと発表した。WHO は感染拡大防止に向け、引き続き警戒を呼びかけている。
　緊急委では、感染例の大半は男性の同性愛者で天然痘のワクチン接種を受けていない若い世代のため、今後も感染が広がる危険性を看過すべきではないとの意見も出た。また従来流行していたアフリカでも長年放置され、適切に管理されていなかったとの懸念も強調された。
********** 以上 **********